

競技注意事項

1. 規則について

本競技会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本競技会申し合わせ事項により実施する。

2. 駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場使用上の注意

- 1) 当該種目出場競技者、競技役員、主催者が許可した関係者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) 更衣室は指定された場所を厳守して使用し、各日、使用した者が使用後清掃すること。
- 3) 荷物は各自が責任を持って管理すること。貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者が責任を負うことはない。
- 4) 主催者の許可なく競技場施設へのテープ等の貼り付け及び、競技場内の全ての電源の使用を禁止する。
- 5) フィールド内における競技以外での芝生への立入りは、厳禁とする。
- 6) 観戦、応援、撮影は競技エリアでは一切禁止とし、スタンドで行うこと。
- 7) 競技場保護のため舗装材を傷つけるような底が硬い靴での競技エリアへの立ち入りは禁止する。
- 8) 競技エリアでは、水以外の飲料の持ち込みは厳禁とする。
- 9) 競技場、及び公園内は全面禁煙とする。

3. 練習について

- 1) 練習は各個人が事故防止に万全を期すこと。特に、リレーのバトン練習や器具を用いた練習は、周囲に声をかけ事故のないように十分注意すること。なお、練習中に発生した疾病・障害等については、応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- 2) 周回レースが行われていない時間帯のみバックストレートを開放する(4・5レーンは女子ハードル専用、7・8レーンは男子ハードル専用)。その際、事故のないように各自十分注意し、現場の審判員の指示に従うこと。
- 3) 競技開始前のトラックでの練習は、両日とも8:45までとする。レーンの使用は、原則として以下の通りとする。なお、逆走は厳禁とする。

【1・2レーン】：中・長距離

【3・4レーン】：短距離（スタートダッシュは100mスタート地点）

【5～8レーン】（第1曲走路からバックストレート）：400mH

【5～8レーン】（ホームストレート）：100mH・110mH

※5・6レーンを女子専用、7・8レーンを男子専用とする。

- 4) 走高跳、棒高跳の練習は本連盟で用意したゴム製バーを使用して練習すること。
- 5) 投げき種目の練習は、各審判員の指示に従い競技開始前に各々の競技場所にて行う。なお、練習は1回につき1人1分以内とする。

4. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは正規のものを 2 枚配付する。そのままの大きさで胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目の競技者は、胸または背だけでも良い。
- 2) トランプ種目出場者は競技者係で配付する腰ナンバー標識（競技終了後回収）をパンツの右下やや後方に付けること。100m、200m、5000m、110mH、100mH、10000mW、4×400mR の第 4 走者については両腰に腰ナンバー標識を付けること。なお、10000mW においては、周回の確認のため、トランプポンダー付きの腰ナンバー標識を使用する。トランプポンダー付きの腰ナンバー標識は左腰につけ、通常の腰ナンバー標識を右腰につけること。
- 3) 5000m、10000mW、4×400mR 出場者には、レース用特別ナンバーカードを配付する。
当該種目第 1 組の招集完了時刻 1 時間前までに、招集所へ受け取りに来ること（女子 4×400mR は 8:00～8:35 の間で取りに来ること）。その際、確認のため事前に配付したナンバーカードを必ず持参すること。
- 4) ナンバーカードの地色、数字の色は次の通りとする。

種 目	ナンバーカード
男 子	黄地×黒数字
女 子	ピンク地×黒数字
男子 5000m/10000mW	白地×黒数字
女子 5000m/10000mW	白地×赤数字
4×400mR	白地×赤数字

5. 競技者の招集について

- 1) 招集所は 100m スタート地点付近に設置する。
- 2) 各種目の招集開始・完了時刻は競技日程記載の通りとする。
- 3) 代理人による点呼は認めない。ただし、2 種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が「重複出場者届」（招集所に用意）を、**招集を受けることができない種目の招集開始時刻までに競技者係（招集所）に提出すること。**
- 4) リレー種目は、オーダー変更の有無にかかわらず、「リレーオーダー用紙」（招集所に用意）を、**当該種目第 1 組の招集完了時刻 1 時間前までに招集所にいる競技者係に提出すること**（メンバーについては競技規則第 170 条 10 を参照のこと）。
- 5) 招集完了時刻に遅れた場合や、「重複出場者届」及び「リレーオーダー用紙」がそれぞれの指定された時刻までに提出されない場合、当該種目を棄権したものとして処理するので注意すること。
- 6) リレーに 1 大学から複数のチームが出場する場合、それぞれのチームは独立した団体とみなし、チーム間での変更・交代は認めない。
- 7) 棒高跳の練習は競技実施場所で、競技開始 1 時間前から行うことができる。また棒高跳の招集は競技実施場所にて行う。

6. 契約について

- 1) エントリー後、病気または事故等によりやむなく本競技会への出場を棄権する場合は、次の要領で「棄権届」を提出すること。
 - ① 3月25日(月)15:00までは、関東学連HP(<http://www.kgrr.org/>)記載にしてある「棄権届」に必要事項を記入、押印し、メール(kgrr@star.odn.ne.jp)またはFAX(03-5411-1499)で提出する。
 - ② 3月25日(月)15:00以降は、招集所に用意してある「棄権届」に必要事項を記入、押印し、競技者係(招集所)に提出すること。やむを得ず大会当日に競技者係へ提出できない場合は、本連盟ウェブサイトからダウンロードした棄権届に必要事項を記入し監督が署名捺印の上、メール(kgrr@star.odn.ne.jp)にて本連盟まで提出すること。

7. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具(棒高跳用ポール・やりを除く)は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- 2) やりの持ち込みを希望する場合は、当該種目の招集完了時刻1時間30分前から1時間前までにA倉庫(100mスタート付近)にて、技術総務兼公式計測員の検査を受け使用することができる。検査後、やりはそのまま用器具係に引き継がれ、競技場の備品と同等に扱われる。また、破損等については、持ち込み者個人の責任とする。持ち込みのやりは競技終了後、A倉庫にて返却する。

8. 商標等について

競技者が競技場に商品名のついた衣類、バッグなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。基準をこえる商標については必ずテープ等を貼って隠すこと。

9. 競技について

- 1) トラック種目について
 - ① 計時は全て電気計時(0.01秒)を用いて行う。
 - ② 5000m以上の種目では、必要に応じてバックストレートに給水所を設置し、水及びスポンジを用意する。なお、給水後のコップ、スポンジについては他の競技者の妨害になるような捨て方は禁止する。
 - ③ 以下の種目で一定時間内に残り1周に達しない者は失格とし、競技を中止させる場合がある。

男子 5000m	19分00秒
女子 5000m	20分30秒
男女 10000mW	60分00秒

- ④ 競技時間と出場者数の都合で、10000mWは男女同時に実施する。
- ⑤ 10000mWでは、先頭の競技者が残り1周となっても競歩審判員は移動しない。競技者の歩型が競技規則第230条2に明らかに反する時には、競歩審判員主任はその競技者に既に出された赤カードの有無に関わらず、当該競技者を単独で失格にする権限を有するものとする。

2) フィールド種目について

- ① 走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・やり投の試技は3回までとする。
- ② 練習跳躍を除き、踏み切り位置は当該競技者に示さない。
- ③ 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は以下の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

		練習	1	2	3	4	5	6	
走高跳	男子	(低) 1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	以降最後の1人となるまで3cm 刻みとする。
		(高) 1m85	1m90	1m95	2m00	2m05	2m08	2m11	
	女子	(低) 1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53	1m56	以降最後の1人となるまで3cm 刻みとする。
		(高) 1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	1m76	
棒高跳	男子	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	以降最後の1人となるまで5cm 刻みとする。
	女子	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	3m40	以降最後の1人となるまで5cm 刻みとする。

- ④ 三段跳の競技場所（助走路）は2カ所設定する。踏切板は助走路の砂場の近い方の端から
男子は10m、12m、女子は8m、10mとする。

10. その他

- 1) 競技運営上、多少競技日程が変更になる場合がある。
- 2) 競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んではならない。スマートウォッチについては、電波を発信しない状態（機内モードなど）に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- 3) 競技中の事故について、主催者側で応急処置は行うが、その後の責任は一切負わない。
なお、緊急の場合に備え各自で保険証を持参すること。
- 4) 大会当日に出たゴミは、必ず各自で持ち帰り処分すること。
- 5) 盗難・紛失について
主催者側で預かった物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない（遺失物等は学連控室で管理する）。
- 6) 開・閉門時刻について
両日とも開門 7:30、閉門 18:00 とする。なお、開・閉門時刻は厳守すること。
- 7) 駐車場について
駐車場（有料）は台数に限りがあるため、なるべく公共交通機関を利用すること。
本連盟で駐車券は発行しない。また、バスについては競技場内に停めることが出来ないため近隣のコインパーキングを利用すること。
- 8) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明の点は大会本部に問い合わせること。